

会社名 株式会社 セントラル・コーポレーション

本 社	〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目9-12 セントラルビル		
電 話	086(244)2263(代)	F A X	086(243)0839
代表者	笹 山 博 史	U R L	http://www.central-web.co.jp
資本金	2,500万円	創 業 立	1980年(昭和55年)9月

「起業・こだわり製品」支援を続けて35年
「わずか100個～」でも化粧品「OEM」製造可能
 「貴社専用」にゼロから作ります!! 「洗顔・化粧水6万円～ エッセンス・クリーム8万円～ (10万個まで)」

会社沿革及び概要		経営理念
昭和55年 9月	株式会社セントラル・コーポレーション設立。 細胞活性の為の材料研究。	創立1980年から「起業・こだわり製品」の小ロット製造支援を続けて35年の化粧品製造会社です。わずか「100個から」でも化粧品・健康食品をOEM製造致します。 在庫バルクの小分けではなく「貴社専用」にゼロからお作り致します。 創業から一貫して人を助ける独立支援企業を目指しております。
昭和60年	化粧品業界の製造業で「小ロット100個製造」を確立する。	
昭和62年 6月	エステティック化粧品「ES301」シリーズ発表。	
平成1年 6月	瞬時にタルミを引き上げる「プチ整形化粧品」研究発表。	
平成2年 6月	肌分析の研究室設立。肌分析コンピュータシステム完成。	「差別化」原料での豊富なOEM体制
平成12年	関連会社リ・セル研究所(宮崎)にて人工皮膚素材「キチンキトサン」の微分子抽出の研究が始まる。	
平成13年	宮崎に微分子抽出研究所(ReCell研究所)設立。	●「発酵抽出」馬ブラセンタ(ナノ化・二重リボソーム加工済) 従来、馬ブラセンタは酸アルカリ加水分解や酵素加水分解で抽出されてきました。脂溶性・不溶性の成分の抽出は難しく、高温(60～100℃以上)による抽出により、酵素の高温工程中、生理活性物質が破壊されたり、生理活性物質(脂溶性・水溶性)の破壊による効能減少が問題点でした。新研究の「発酵抽出法」により、水溶性・脂溶性・不溶性成分の抽出が可能となり低温処理(40℃以下)による生理活性物質の活性を維持したままでの完璧な抽出が可能になりました。これにより細胞増殖に関与するグリコサミノグリカン類の成分量は、酸加水分解法の約10倍に上昇しました。
平成15年 2月	セントラルビル完成。	
平成20年10月	EGF他成長因子の原料製造開始。	
平成21年12月	ナノ化二重リボソーム皮膜カプセル化技術完成。 馬ブラセンタ原料製造開始。	
平成22年10月	EGF等、成長因子の細胞増殖を助ける「培養エキス」研究。	
平成25年 2月	「発酵抽出」馬ブラセンタ研究。	
 化粧品製造販売業 許可番号27CQX00560		ナノ・二重リボソームカプセル加工の必要性 二重リボソーム加工は、化粧品に使われてる主要原料をナノサイズで多層脂質の二重膜に原料を封入するための技術です。 ブラセンタの主成分はタンパク質であり、クリーム等の乳化剤で混合するときや、表皮酸性皮脂膜(バリア機能)などによるタンパク質分解作用等により変性が起き、変性されたブラセンタは活性を失います。その為、成分が分解されたり、活性度を落とさない為には、二重のリボソームカプセルで保護する必要があります。カプセル化すると乳化剤および表皮酸性皮脂膜と直接接するのを避けられ、活性をそのまま維持出来ます。